令和４年度パーラメンタリーディベート事前学習会

令和５年１月８日実施

１　概要

令和５年１月８日（日）静岡県総合教育センターにて、「パーラメンタリーディベート学習会」が開かれました。高校生は15校から98人の参加がありました。

【令和４年度の参加校】

三島北、吉原、清水東、静岡東、藤枝東、浜松北、浜松西、浜松湖南、

浜松江之島、不二聖心、星陵、常葉橘、静岡雙葉、

藤枝明誠、浜松開誠館

タイムテーブル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ９：00～ | 受付 |
|  | ９:30～９:50 | 開会式（大研修室） |
| １ | ９:55～12:05 | レクチャー①初級（大研修室） | レクチャー①中級Ａ（第一会議室） | レクチャー①中級Ｂ（研修室10） |
| ２ | 12:45～13:45 | レクチャー②初級（大研修室） | レクチャー②中級Ａ（第一会議室） | レクチャー②中級Ｂ（研修室10） |
|  | 13:55～14:05 | Motion発表 |
| ３ | 14:25～15:35 | 練習試合（８つの研修室） |
|  | 15:30～15:45 | 閉会式（大研修室） |

　※今年度は、試合方式や議論の構築、反論方法についての基礎を学ぶレクチャー

初級に29名、経験者向け中級に69名の生徒の参加がありました（先生方に　は自由に見て回っていただきました。）。

２　各レクチャー[内容はほんの一部です。]

|  |
| --- |
| 【レクチャー（初級）】・ディベートの方法を学習すると「相手の話の論理構造と言いたいことを素早く理解する」ようになり、「相手の話を踏まえて、自分の話の方がよりよいことを伝える」ことができるようになる。・学ぶことに「話し方」「立論」「反論」がある。・話し方の基本は、AREAである。AREAを伝って主張する練習を行った。・サインポストを作る練習を行った。　（This Ｈouse would legalize organ transplant for profit.など）・議論のコンセンサス部分を探す練習を行った。 |
| 【レクチャー（中級**Ａ**）】・ディベートの後半に大切になってくるEngagementとWhip（３人目のスピーカー）の役割について学習した。EngagementとはRebuttal（反論）・Comparison（比較）・Pointing Out（指摘）といった相手の議論への対処のことであり、生徒たちは例題論題に対して具体的に反論を考え発表し、講師からのフィードバックや解説を聞いて学んだ。午後には、Whipの役割を取り上げ、Comparison（比較）の重要性やBurden of Proof（証明責任）に基づいてクラッシュポイントを挙げて、これまでの議論をsummarize（要約）する方法を学んだ。 |
| 【レクチャー（中級**Ｂ**）】・生徒は、AREAを取り入れた立論の基本構成と、それをより効果的にするためにインパクトをどう高めるのか、そして反論に必要な表現やパターンを学んだ。多くの例題について、実際に立論、反論を短時間でチームで考え発表する中で、他の生徒の発表からも刺激を受け、実践的なディベートの手法を身に付けることができた。 |

３　練習試合

　　８つの研修室に分かれて、各校１チームずつ出てもらい、"THW ban all religious organizations to conduct any financial transaction with their believers including donation and sales of goods / services."というモーションで練習試合を行いました。試合に参加しない生徒は、講師による簡単なmotion解説を学んだあと、練習試合の観戦をしました。

